

小倉遊亀

と院展の画家たち展

滋賀県立近代美術館所蔵作品による

Yuki
Ogura
and
the Painters of
the Japan Art Institute



小倉遊亀《姉妹》昭和45年(1970)〔前期〕 滋賀県立近代美術館蔵

2019年9月13日|金|－11月4日|月・休|

※10月7日(月)に作品が入れ替わります。

9月13日(金)－10月6日(日)〔前期〕 10月8日(火)－11月4日(月・休)〔後期〕

会期中本展観覧券の半券をご持参の方は900円でご覧いただけます。

会期中の休館日	9/17(火)・24(火)・30(月)、10/7(月)・15(火)・23(水)・28(月)
開館時間	午前9:30～午後6:00 入室は午後5:30まで
主催	富山県、小倉遊亀と院展の画家たち展実行委員会(富山県水墨美術館、北日本新聞社)
	NHK 富山放送局、NHK プラネット中部
監修	國賀由美子(大谷大学文学部教授、元滋賀県立近代美術館専門学芸員)
特別協力	滋賀県立近代美術館
協力	公益財団法人日本美術院
賛助	医療法人財団五省会、東亜薬品、日東メディック、ユニゾーン(五十音順)
制作協力	NHK プロモーション

小倉遊亀と院展の画家たち展

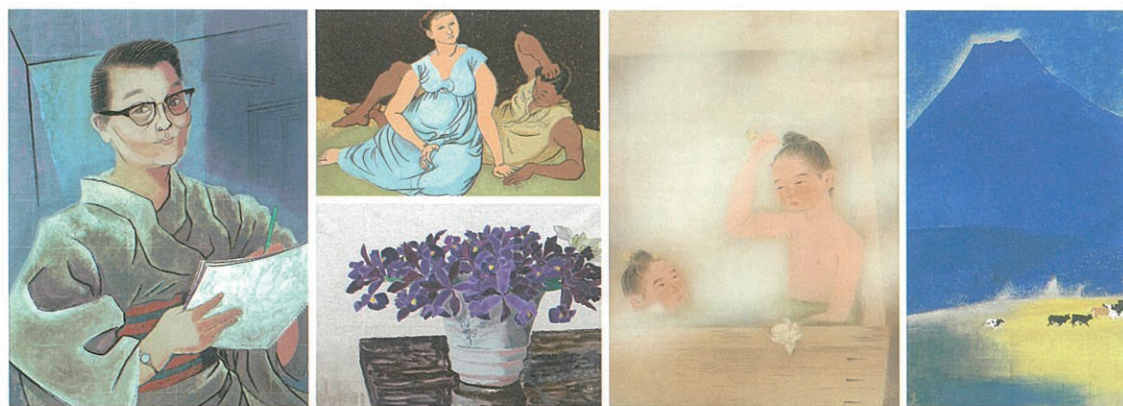
滋賀県立近代美術館所蔵作品による

このたび、近代日本画の名品で知られる滋賀県立近代美術館の所蔵作品により、「小倉遊亀と院展の画家たち展」を開催します。

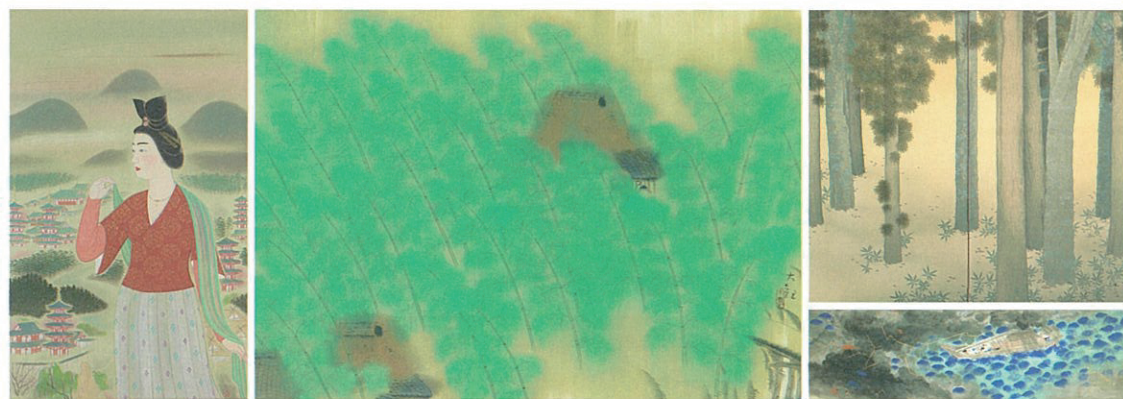
日本美術院は、明治31年(1898)岡倉天心が東京・谷中初音町で創設し、横山大観、菱田春草らが中心となり日本画の近代化に邁進しました。その後、経営難から一時茨城県・五浦への移転を余儀なくされ、大正3年(1914)大観らによって再興されます。そこでは、安田靉彦、小林古径、前田青邨、速水御舟らに、京都の富田溪仙や大阪の北野恒富らが加わり、鮮烈な個性を表出しながら芸術を創造する苦悩と歓喜に奮い立ちました。

明治28年、滋賀県大津市に生をうけた小倉遊亀は、教鞭を執りながら日本画家をめざしました。大正9年に安田靉彦に入門し、日本美術院の先人の轍を学ぶことから画業を始め、大観、下村観山、靉彦、古径らと深く交流しました。そして、女性初の日本美術院同人となり、のちに文化勲章を受章します。

本展では、小倉遊亀芸術の精華と、伝統を尊重しつつ新たな日本画を追求する院展の革新的気風のもとに集まった俊英画家たちの研鑽や、小倉遊亀に与えた影響を、各作家の優品96点により、前・後期に分けて紹介します。



左から 小倉遊亀《画人像》昭和37年(1962)〔後期〕、(上段)小倉遊亀《家族達》昭和34年(1959)〔前期〕、(下段)小倉遊亀《盛られた花》昭和38年(1963)〔前期〕、小倉遊亀《童女入浴》大正15年(1926)〔前期〕、小倉遊亀《青樹》昭和51年(1976)〔前期〕



左から 安田靉彦《飛鳥の春の額田王》昭和39年(1964)〔前期〕、横山大観《洛中洛外雨十題 八幡緑雨》大正8年(1919)〔後期〕、(上段)菱田春草《落葉》明治42年(1909)〔後期〕、(下段)小林古径《竹取物語 難破》大正6年(1917)〔前期〕 ※作品はすべて滋賀県立近代美術館所蔵

関連イベント

9/21(土)、10/19(土)、11/2(土)
14:00～

学芸員によるギャラリートーク

場所 | 展示室1・2

※参加自由、要企画展観覧券

9/27(金)19:00～19:30

シャンソンと絵の語らい

～越路吹雪にやせて～

出演 | 水木ようこと花木水会コーラス

場所 | 展示室1・2

※参加自由、要企画展観覧券

※当日は20:00まで延長開館します
※18:00～18:50の間に会場準備を行いますので、ご了承ください

10/5(土)14:00～

スペシャルギャラリートーク

「院展画家の魅力を語る」

講師 | 高島圭史氏(富山大学芸術
文化学部教授・日本美術院
同人)

場所 | 展示室1・2

※参加自由、要企画展観覧券

10/13(日)14:00～(約90分)
記念講演会

「小倉遊亀と滋賀県立近代美術館」

講師 | 國賀由美子氏(本展監修者、
大谷大学教授、元滋賀県立
近代美術館専門学芸員)

場所 | 映像ホール

※聴講無料

10/27(日)14:00～

とやま室内楽フェスティバル2019

ミュージアムコンサート

場所 | エントランスホール

※入場無料

2019年9月13日|金—11月4日|月・休

観覧料

一般1,200(900)円 大学生900(650)円 前売一般900円

※()内は20人以上の団体料金です。※この料金で常設展も観覧できます。

※小・中・高校等の児童・生徒及びこれらに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は観覧無料です。

【前売券取扱所】 富山県水墨美術館、富山県美術館、アツナビ(富山県民会館、富山県教育文化会館、

富山県高岡文化ホール、新川文化ホール)、セブンチケット(<http://7ticket.jp>)、

ローソンチケット(Lコード:55315)、BOOKSななか、文苑堂書店、明文堂書店

※前売り券の発売は9月12日(木)までです。

会期中の休館日

9/17(火)・24(火)・30(月)、10/7(月)・15(火)・23(水)・28(月)

会場

富山県水墨美術館 展示室1・2

開館時間

午前9:30～午後6:00 入室は午後5:30まで

常設展示

近代水墨画の系譜/下保昭作品室

館内施設

茶室「墨光庵」(立席席、薄茶とお菓子500円) カフェ「北斗」

ミュージアムショップ「風花」 ※展示室以外はフリースペース(入場無料)です。

交通のご案内

●富山駅南口から [市内電車] 大学前行「富山トヨペット本社前(五福末広町)」下車、徒歩約10分 [ぐるっとBUS] ②乗場から北西周回ルート「水墨美術館」下車すぐ [地铁バス] ③乗場から小杉・高岡方面行「五福末広町」下車、徒歩約10分 / ④乗場から四方・呉羽山老人センター・石坂・北代循環行「畑中」下車、徒歩約10分 [タクシー] 約10分
●富山空港から [タクシー] 約25分 ●北陸自動車道富山IC・富山西ICから [自動車] 約20分
●駐車場: 乗用車165台、バス7台 ※ご利用は無料です。

次回予告

富山県水墨美術館開館20周年記念

墨画×革命 戦後日本画の新たな地平 11月15日(金)～2020年1月13日(月・祝)



富山県水墨美術館

〒930-0887 富山市五福 777

TEL(076)431-3719 FAX(076)431-3720

<http://www.pref.toyama.jp/branches/3044/3044.htm>

水墨美術館 検索